

こうほくりょく はっけん つうしん

港北力発見★通信

港北区の元気のもと発見!

〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町26-1 Tel.045-540-2247 Fax.045-540-2245
 地域力発見プロジェクト事務局：港北区地域振興課地域力推進担当 福祉保健課事業企画担当
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kohoku/sinkou/kouhokuryoku/>



高田Fes! 2013 開催

平成25年10月26日(土)、「高田Fes!2013」が高田祭(高田中学校の文化祭)に引き続き高田中学校にて開催されました。台風27号の接近もあり、開会直後は少し雨がぱらついていましたが、途中から晴れ間が見えてきました。

この催しは、高田中学校区学校・家庭・地域連携事業と横浜市高田地域ケアプラザの共催事業で、地域、学校、家庭、地域ケアプラザが協力して行っています。元々は高田地域ケアプラザで活動している団体による文化祭と、高田中学校区学校・家庭・地域連携事業が行う、学校や地域住民の活動発表をするスマイルコンサートという別々の催し物でした。しかし、それぞれの参加団体が一緒に発表する場を設けようということで、平成22年から共催という形になりました。

体育館では個人や複数の団体からの発表がありました。発表は高田小学校、高田東小学校の特別クラブ活動や、地域ケアプラザの活動団体、地域で活躍されてい

る団体など様々です。

発表内容は合唱、楽器演奏、日本舞踊、フラダンス、太極拳、ピアノの弾きがたりなど盛りだくさん。子どもから大人まで幅広い年齢層の方々が日頃の成果をいきいきと発表されていました。来場者には、高田地区で住民同士の交流・3世代間の交流や地域活動が活発に行なわれていることが伝わったのではないのでしょうか。

体育館の外では高田中学校PTAが地域の方も楽しみにされている地域バザーと、地域からの出店もある模擬店を行い、行列ができていました。

イベント終了後は、来場者も一緒に片付けを行う姿が見られ、主催者と一体となって行っている催しになっているようです。学校の小中交流はもちろんのこと、地域住民、来場者、地域ケアプラザなど様々な人々が交流を通して地域活動を活発化させる、そんな「高田Fes!2013」でした。

「ふるさと港北ふれあいまつり」で活動しました。

平成25年10月19日(土)
新横浜駅前公園

■ 港北ものしり協議会 ~クイズ港北ものしり博士に子ども達がチャレンジ!~



ぼくたちものしり博士?

私たちは港北区の自慢できる地理・歴史・文化などを、どのくらい知っているかを競い合う「クイズ港北区ものしり博士」を行っています。港北区の自慢できる内容を集め、読み物風にまとめた小冊子「クイズ 港北ものしり博士 チャレンジしよう!」を作成したほか、「ものしり博士」の証として贈る金メダルの数を昨年より増やして、多くの子どもたちがチャレンジできるようにするなど、より多くの人に港北区の魅力を知ってもらえるようにしました。

今回出展のためにメンバーが集まって港北区の歴史、地理、人物、建造物、自然を調べて、クイズの裏づけになる材料を探すのは大変ですが、それも楽しみとなって活動に繋がっています。港北区の歴史などに興味のある方、一緒に活動しませんか?



クイズ港北ものしり博士チャレンジしよう



港北区のことばくも知ってるよ

《問合せ》港北ものしり協議会

■ jagdun@j02.itscom.net ☎401-2308(小出幸治)

■ K-one動流夢良い世さ来い~日頃の練習の成果を披露!~

私たち「K-one動流夢良い世さ来い」は、人とのかかわりが希薄になりがちな時代に、作品作りを通じて世代を超えた仲間たちの絆を育てることをモットーに、活動してる団体です。

今回は横浜よさこい総踊り「横浜い〜じゃん」を港北区に広めるため、一般公募で集まった港北区の小学生による、「横浜い〜じゃんオフィシャルチーム」が「ふるさと港北ふれあいまつり」に参加しました。最初はモジモジしていた子ども、練習を重ねる度にだんだんと明るく元気に。そして踊りだせば、はじけるような笑顔で楽しさいっぱいの表情!!



元気に踊っています

そんな子供たちを見て私たち大人も元気が出てきます。ドキドキな初舞台、会場には学校のお友達もたくさん見に来てくれました。

演舞の終わった子供たちも、「もう1回踊りたい〜!!」と興奮が抑えきれない様子!!普段経験できないような体験をし、子ども達にとっては大切な思い出となったようです。

私たちは、地域のチカラ応援事業の一つとして12月8日(日)11時と14時からトレッサ横浜南棟1Fで「港北ふれあいダンスフェスティバルinトレッサ横浜」を開催します。このイベントでは、当日誰でも参加できる体験コーナーもあります。ぜひお気軽に皆様も御参加ください。



みんなドキドキ

《問合せ》
K-one動流夢良い世さ来い
■ yoyosakoi@gmail.com
http://k-one-dream.com

「港北ほくほくフェスタ」を開催しました!

平成25年10月25日(金)、港北公会堂にて「港北ほくほくフェスタ」を行いました。第1部「港北区社会福祉大会」と第2部「区民フォーラム」の様子をお知らせします。

第1部 第31回 港北区社会福祉大会

永年にわたって地域で福祉保健活動等に携われ、ご尽力いただいた方々への感謝の気持ちをこめ、個人82名と16団体の皆様に表彰状をお渡ししました。



第2部 区民フォーラム

テーマ: 災害時の備えは日頃の見守りから
～安心して暮らせる地域づくりのために～

コーディネーター: 田園調布学園大学人間福祉学部
村井祐一教授

事例発表: 太尾地区・富士塚自治会(篠原地区)

今回の区民フォーラムでは、災害時に援助が必要な方(以下、要援護者)を支援する仕組みづくりを行っている2つの地区の事例紹介と、それをもとにディスカッションを行いました。

連合町内会と地区社会福祉協議会・民生委員が連携し、要援護者の把握と見守りを行っている太尾地区。取り扱いが難しいと言われている個人情報上手に管理し、日常的な見守り活動にも活用しています。また、富士塚自治会は、災害時の支援を行うためにボランティア隊を結成。「できることをできる範囲で」という無理のない取り組みが多くの方の登録につながっています。

太尾地区、富士塚自治会とも、現在のような仕組みをつくるまでには多くの苦労がありました。「あれこれ考えるより行動しよう」という地域の方々の熱意が原動力となり、大きな成果をあげていることがわかりました。また、両地区とも、1年を通して住民同士の交流の機会を設け、顔が見える関係づくりを大切にしています。日頃の関係があることで初めて災害時にも助け合えることをあらためて実感しました。

会場にいらしゃった方が、事例発表者やコーディネーターからの質問に、色紙を使って「イエス/ノー」を答える場面もあり、会場が一体となったなごやかな区民フォーラムになりました。



「イキイキ!地域活動!交流会!!」開催しました



活動報告会

平成25年度「港北区地域の子カラ応援事業」の中間報告会及び交流会を、11月2日(土)慶応大学日吉キャンパス来往舎で開催しました。

第1部の報告会では5つの団体が現在までの活動について、歌ありダンスありと、工夫を凝らした発表を行いました。懇話会委員からは「お互いに成長できるような交流の場として欲しい」などのエールもあり、これからの活動に向けて弾みをつけるものとなりました。

第2部の交流会は、なんと「地域活動の婚活パーティー!」



婚活中!

参加15団体、総勢40名の皆さんが「婚活ボード」を手に交流タイムに臨みました。「婚活ボード」には、「実はこんな技を持っている」「こんなものを持っている」という

団体の資源、また逆に「活動していく中で欲しいもの」が付箋に書かれています。交流タイムでは、4~5名のグループに分かれ、それぞれが団体の「資源」を求めて情報交換が活発に行われました。その後のフリータイムでもイベント協力などの約束が交わされたりと活発な「婚活」が繰り広げられ、大変な盛り上がりを見せました。



フリータイムで他の団体と交流

フリータイム終了後は、カップル紹介とそれぞれの成果紹介。感想として多かったのは「情報交換・団体の活動を知ること・他団体との交流ができてよかった」というもの。それぞれの活動がつながり、広がっていくことが期待できそうです。



活動について情報中

地域が主役「ひっとプラン港北」

「ひっとプラン港北」(港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画)は、「ひろがる」「つながる」「とどく」をキーワードに、地域と行政、事業所等が協力して「誰もが安心して暮らせるまち港北」を目指す計画です。この通信では地域での取組の一部を紹介しています。

今回は「人が
つながる」
取組だよ!!



梅町地区

「梅町ふれあいのつどい」

梅町地区では、平成19年から交流イベント「梅町ふれあいのつどい」を行っています。今年のはつどいは、10月6日の連合町内会体育祭にあわせて開催。近隣小中学校の児童、生徒による演奏で会場が盛り上がりました。地区で発行しているイベントカレンダーを見て初めて体育祭に参加した方も多く、自分の住む地域の魅力を知るひとときになりました。若い世代の方々の転入が多い梅町地区ですが、このようなイベントへの参加を通じて一人でも多くの方に「ふるさと」として愛着を感じてもらいたいと考えています。



綱島地区

「綱島東地区「ふれあいの家」」

綱島地区は大きな行事やイベントが多く、住民同士の交流が盛んなまちです。そして、これらの行事や日頃のおつきあいから、顔の見える関係づくりも大切にしてきました。身近な場所で気軽に集まり、おしゃべりを楽しむ「サロン」の開催を検討してきた推進委員会は、9月25日に綱島親友自治会館でサロン「ふれあいの家」を行いました。時折雨が降るあいにくの天気でしたが大勢の方が集まり、落語やギター演奏を楽しみました。次回の開催は未定ですが、このような機会をできるだけ多くつくりたいと考えています。



日吉地区

「えんがわの家 よってこしもだ」

昭和の雰囲気を感じられる縁側のある空き家を使った居場所が、今年9月にオープンしました。この家は子どもから大人まで地域の誰もが集い、つながり、くつろげる場所です。運営するのは地域のボランティアで、講座やイベント開催時には地元の大学の教授や学生等にも協力してもらっています。また、地域やケア連絡会とも連携して、より身近で地域に根付いた居場所づくりを目指しています。

地域の有志が趣味や特技を活かして手作りの品を持ち寄る「手作り市」等誰もが気軽に参加できるイベントを毎月実施しています。皆さんもくつろぎにいらしてください。

【毎週(水・木・金)10時~17時】

住所: 下田町6-8-28

日吉地区

「サロン日吉「なかよし」」

身近な場所で、子どもから高齢者まで誰もが気軽に参加できて、顔見知りになるきっかけづくりができる「交流の場」をつくりたいという思いから、昨年7月にサロンをオープンしました。周辺の3つの自治会町内会が輪番で毎月の実施内容を考え、当日の当番もしています。いろいろと企画している中で、映画上映は特に好評で、普段は少人数になりがちな男性も含めて、大勢の方が参加されます。月1回の集まりですが、日吉地区にあった肩ひじのはらない居場所を目指していきます。是非、一度覗きにきてください。



【毎月第4(金)13時~15時 日吉町自治会館にて】

住所: 日吉2-27-16



「ひっとプラン港北」に関する問合せ先

港北区福祉保健センター 福祉保健課 事業企画担当

☎ 540-2360

☎ 540-2368

✉ ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp

🌐 <http://www.city.yokohama.lg.jp/kohoku/fukuho/fukuho/ko-fukuhoplan.html>